

全国と連携した木材需要拡大について

●WOODコレクション（モクコレ）

- 木材の大消費地である東京において、多摩産材をはじめとする日本各地の地域材を活用した、建材や家具などの木材製品の展示商談会を平成27年度より開催
- 新たな木材需要を喚起し、木材利用の拡大を図る

➤ 実績

年	2016	2017	2018
連携	3都県	16都道県	33都道府県
来場	500人	1,300人	4,000人

○ WOODコレクション（モクコレ）2019

- ・開催日程 平成31年1月29日（火）、30日（水） 2日間
- ・開催場所 東京ビックサイト 東7・8ホール
- ・出展規模 **連携40都道府県**（予定） ※昨年度出展事業者等324者
- ・全体構成 全国から参集した木材製品を出展する企業・団体ブース
オープニングセレモニーやセミナーの開催

◇新たな企画

- ・木塀の展示
都市部での木塀の普及を進めるため、木塀のサンプルを展示し、来場者へ紹介
- ・ウッドシティTOKYOモデル建築賞
東京において、国産木材利用の新たな可能性を開拓する、革新的・モデル的な建築物又は木質空間を表彰する、コンクールを開催



今後に向けた東京都の取組状況

● 都府施設における試行的な木塀の設置

都立高校 … 国立高校、井草高校、東大和高校

都府施設 … 駒沢オリンピック公園総合運動場内(弓道場)、都府地(墨田五丁目運動広場)

いずれも、既存塀の撤去及び木塀の設置に着手中

● 今後の対応

○ 木塀普及に向けた基準・ガイドラインを作成

- ・都が施工する工事等において、国産木材等を活用した塀や柵の利用を推進
 - ・スケールメリットによる将来的なコストダウンを目指し、塀等の図面や仕様、コストに関する資料を民間に広く情報提供
 - ・木塀の試行により明らかになった課題の取り込み
 - ・作成にあたっては、民間との意見交換も実施予定
- ⇒都作成のガイドラインの公開により、民間や区市町村への普及を後押しする

○ 国産木材等のさらなる活用促進に向けた取組

- ・これまで行っていた多摩産材の活用促進の取組に加え、国産木材等のさらなる活用検討のため庁内にプロジェクトチームを設置
- ・塀や柵等のほか、広く建築物・工作物への利用や機運醸成の取組等を検討中



都立国立高等学校



駒沢オリンピック公園
総合運動場内弓道場



木塀(イメージ)

「東京の森林の将来展望」 ～東京フォレストビジョン～

- 全国育樹祭の開催を契機として、多摩、島しょの森林について、50年、100年先の将来像を7つのメッセージとして発信する「東京の森林の将来展望」を作成

●メッセージ7（木材利用の将来像）

全国知事会によるプロジェクトの展開により、木材を活用した塀をはじめ、オフィスや商業施設など、都市部における国産木材の利用が進み、「木の国」日本の首都東京が「木の都市」に生まれ変わる！

都市の木材需要が林業を活性化させ、森林循環を促進する持続可能な森林サイクルが確立されている！

- ・ CLT等の新たな建材の開発・活用が進むとともに、鉄筋コンクリート造等と木造を組み合わせたハイブリッド構造の建築技術が進化し、住宅以外のオフィスや商業施設など、中高層建築物にも木材利用が拡大している。
- ・ 次代を担う子供たちが利用する施設（保育園・学校等）の多くが木造・木質化されている。
- ・ 全国知事会によるプロジェクトの展開により、木材を活用した塀の普及をはじめ、建築物の外壁などに防火を考慮した国産木材の利用が進み、街路樹とともに木の街並みが創出されている。



小学校の木造・木質化



都心に木造の高層ビル
(イメージ)



塀に木材を利用



第42回 TOKYO 2018

全国育樹祭

育樹から 木のある暮らし つないでく

お手入れ行事

期日：平成30年11月17日（土曜日）

内容：全国植樹祭お手植え樹木を皇族殿下がお手入れ

参加人数：120人程度



会場（海の森公園予定地）



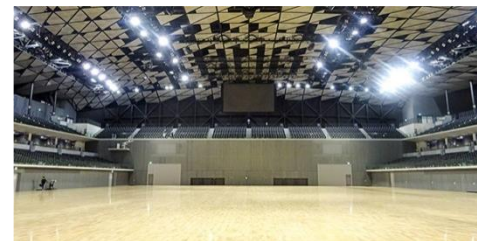
お手植え樹木

式典行事

期日：平成30年11月18日（日曜日）

内容：皇族殿下のおことばや緑化功労者の表彰など

参加人数：5,000人程度



式典会場（武蔵野の森総合スポーツプラザ）

第42回全国育樹祭 大会テーマ：育樹から 木のある暮らし つないでく

木材の大消費地 東京ならではのメッセージを全国に発信

■ 木材供給・水源かん養・CO2吸収による温暖化の緩和など、森林は、世界有数の大都市東京の活動と暮らしを支えるかけがえのない財産

■ 東京2020大会関連施設等での木材利用推進など、東京で日本全国の豊富な森林資源を有効活用することにより、森林循環を促進

■ 江戸から東京となって150年の節目での育樹祭開催となることを踏まえ、日本が誇る木材利用文化を将来にわたり継承

森づくりへの機運の醸成、森林整備・木材利用の促進

- ◎ 森を育て、木を使うことによる持続可能な暮らしを未来へつなぐ
- ◎ 健全で活力ある森林と緑豊かな大都市東京を次世代に継承